

平成 23 年度 室内環境学会第 1 回役員会議事要旨

日 時：平成 23 年 3 月 2 日（水）13:00～15:10

場 所：(株) アイデック 5 階会議室

出席者：小野、中井、関根、雨谷、篠原、柳沢、野崎
(以上実出席)、東、柳、樺田（委任出席）

オブザーバー：濱田

事務局：中島、松木、色摩

欠 席：なし

議事次第

0) 第 1 回役員会に際し、各役員の自己紹介が行われた。

1) 関西支部人事の件

小野会長より、関西支部における互選の結果、濱田信夫正会員が支部長に選出された旨報告があり、承認された。

2) 平成 22 年度学術大会報告

中井大会長より報告があった。有料参加者数 255 名、約 24 万円の黒字となった。また大会運営マニュアルや法人会員・展示企業の参加費等に関するルール策定の必要性が指摘された。特に協賛会員の参加費設定については、正会員との差別化を意識しつつ事業委員会も交えて検討する必要があるとされた。要旨等の WEB 投稿の要望があるので引き続き技術的検討をすべきとの意見が出された。また大会長奨励賞受賞演題とその決定経緯についても報告された。その際に、一般参加者からの投票を含め、奨励賞の規定・内規の改善点についてもいくつかの意見が出された。

3) 平成 22 年度決算報告（中間報告）

事務局より H23.2.28 時点での決算報告があり、230 万円程度の繰越金が生じる見込みと報告された。また燃焼機器分科会の予算超過について審議した結果、学術委員会の残金から充当することとなり、領収書等の必要書類を揃えて事務局へ提出することとされた。

4) 各委員会の所掌事項について

小野会長より本会の委員会の所掌事項について、特に複数の委員会に関係する事項の明確化が提案された。表彰制度の拡充においては、学術分野に関連するものは学術委員会、永年表彰等は事業委員会の所掌とし、また日韓台合同での英文誌については企画を社会連携委員会、刊行を出版委員会が所掌し、啓発書については企画を事業委員会、出版を出版委員会の所掌とすることと整理された。

5) 各委員会活動計画及び報告

学術委員会：計画書に基づき、諸外国の情報収集や学生懇談会の開催などの計画が示された。

出版委員会：関根委員長より、14 巻 1 号の準備状況の報告があった。また投稿規定から別刷贈呈の記載を削除すること、単位表記を SI 単位系に統一することなどが報告された。一方、これまで続けてきた査読者の開示に関して議論があり、出版委員会で改めて議論することとなった。

標準化委委員会：雨谷委員長より活動計画が示された。続いて柳沢前委員長より「家庭用空気清浄機によるカビ孢子除去性能の評価試験法」に関するパブリックコメントが 1 件あり、現在回答を準備している旨報告があった。

事業委員会：計画書に基づき、講演会の開催、啓発書出版の準備など、今年度の計画が示された。

広報委員会：篠原委員長より、今年度の活動計画のうち、特にホームページのリニューアルについて提案があった。併せて経費の提示があり、了承された。

社会連携委員会：中井委員長より、NPO・市民団体との連携や日韓台との関係等に関する計画が示された。

商標管理委員会：柳沢委員長より、委員の公募を行いたいとの提案があり、案内をメールで配信することとした。また商標管理委員会の内規を作成し、標準化委員会と刷り合わせるとの説明があった。

九州支部：1 月 25 日に「環境と健康」をテーマとして長崎地区セミナーを開催し、30 数名の参加を得たこと、1 月 28 日にシンポジウム「越境大気汚染の現状」・研究発表会を大気環境学会とジョイント開催して 54 名の参加を得たこと等が報告された。また学校薬剤師会との連携での講演会も計画予定と文書で報告された。

東北支部：野崎支部長より今年度の活動報告として、チャンバー実験による開放型燃焼器具の汚染物質発生量の定量的把握、勉強会・シンポジウムによる成果発表及び他分野研究者との交流が挙げられた。

関西支部：濱田支部長より、2 月 3 日に「近年の室内環境における健康問題について」と題するセ

ミナーを開催し、約 30 名の参加があり活発な議論が行われたと報告があった。

6) 分科会設立申請の件

化学分科会・燃焼器具分科会及び微生物分科会の設立申請について議論された。化学物質、燃焼器具分科会についてはそれぞれ関根代表、野崎代表より設立趣旨・活動計画案が説明された。微生物分科会については申請書に基づき会長より説明があり、いずれも設立が承認された。

また「室内環境学会標準法」が商標登録され、商標登録費は 10 年間で 37,600 円だったと報告された。これに伴い、本会の NPO 化等の法人化を検討する必要があるとの指摘があった。本件については WG の設置などを含めて検討することとした。

7) 室内環境第 13 巻別冊送料負担の件

1 月に発送された別冊に関し、送料 51,313 円が発生しており、本会で負担することが提案され、承認された。

8) 平成 23 年度学術大会準備状況

雨谷大会長より次回大会について、日程は 12 月

8・9 日を予定し、グランシップを予約したこと、大学の協賛金を申請し、海外研究者の招聘も検討していること等の報告があった。

6) その他

・日経トレンディ、日経 BP、ウルトジャパン、白門建設等からの問い合わせ・取材対応について報告があり、今後の協力が依頼された。

・海外旅費の取り扱いについて事務局から提案があり、以後委員会活動費等、本会の費用で海外出張する際には、事前に役員会の承認を得ること、帰国後報告書を提出すること、領収書及び航空券の半券を提出することが確認された。

・会員動向について増減がなかった旨報告があった。また会費の自動引き落としについて要望があったが、経費の点で困難と回答があった。

次回役員会は 5 月連休明け頃で調整することとした。

以上